

<就任挨拶：社会奉仕委員会：高崎卓哉委員長>

今年度、社会奉仕委員長を仰せつかった高崎です。
ロータリー・クラブにおける社会奉仕とはクラブの所在地域または行政区域内の人々の生活の質を高めるために、他と協力しながらニーズに合った様々な奉仕活動を行うとあります。

現在、世界中の多くの地域社会で社会奉仕プロジェクトを実施しています。

また、ロータリー・クラブ会員は、奉仕を通じた国際理解、親善、平和という共通の目的の下に、ボランティアのネットワークを築いています。

地域でさまざまな事業や専門職に従事するロータリー・クラブ会員は、効果的な社会奉仕プロジェクトに必要な地元のニーズ、優先事項、文化やリソースについての知識を有していますが、効果的なプロジェクトを実施するには、単に地域社会を理解しているだけでは十分ではありません。

プロジェクトの成功には、地域のニーズ調査、プロジェクトの計画、資金や人材の管理、地域資源の活用を、クラブが如何に効果的に行えるかどうにかかっています。

効果的な奉仕プロジェクトとは、問題の応急処置だけでなく、以下の要素を含んでいます。

- 支援を本当に必要としている問題に取り組む
- 地域の人々の生活を向上させる
- 奉仕を受ける側の人々の技能や知識を生かす
- すべての参加者の貢献を、重要かつ必要なものとして認め、感謝する
- 利用可能なリソースを調べた上で実施する
- 実現可能な目標を定める
- 効果的なネットワークを築く
- 人々と地域社会の能力を高める



以上を踏まえた上で、松戸北ロータリー・クラブとしての今年度の社会奉仕活動計画を充実させるために、奉仕地域・現状の調査を行い、地域の人々の協力を仰ぎ、ニーズに合った具体的な社会奉仕活動を、各委員会と協議のうえ、ご協力頂き、プロジェクトを進めて参りたいと思いますので、クラブ会員の皆様方のご理解とご協力よろしくお願い致します。

<ニコニコ委員会：小林 弘委員長>

■伊師嗣迪：ニコニコで表彰されたので、ニコニコを入れます。



■小林 弘：ニコニコの表彰をいただきありがとうございます。
尚、今年度は私くしがニコニコ委員長です、皆様よろしくお願い致します。



■吉田俊一：昨年度ニコニコ委員長を務めさせて頂きました、皆様のご支援ご協力で計画を達成することが出来ました。心よりお礼申し上げます。
児山・平田年度の発展を祈念して。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1976回 例会 2013年7月30日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第1976回：例会プログラム>

12:30	点鐘 ロータリーソング（我等の生業） 斉唱 お客様紹介 会食 例会再開	児山会長 崎谷会長エレクト
12:55	会長挨拶・報告	児山会長
13:00	幹事報告	平田幹事
13:05	【委員長就任挨拶】 社会奉仕委員会	高崎委員長
13:10	【内部卓話】 TPPの諸問題について	吉田会員
13:25	【委員会報告】 前年度ニコニコ委員会 ニコニコの表彰 社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表 ニコニコ委員会 ニコニコ発表 ロータリー情報・職業分類委員会	吉田委員長 池田会員 小林弘委員長 鈴木委員長
13:30	点鐘	児山会長



<会長挨拶：児山守治会長>

こんにちは。暑い日が続きます。どうぞお身体ご自愛下さい。

さて 今年度RIのテーマはENGAGE ROTARY CHANGE LIVES「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」です。ロータリーの土台はロータリーの中核的な価値観 即ち奉仕 多様性 高潔性 リーダーシップであります。地域社会にこれらの価値観を広めるよう努力してまいります。

またロータリークラブの目的としている処は人生を如何に生きていくべきかを問い続ける専門職業に携わる企業経営者の生涯学習をする場所であります。会員相互の交流を通じて自己啓発を図り道徳水準を高めて自らの職業を通じて社会に貢献することを目指してまいります。

本日は吉田俊一さんのTPPについての卓話がございます。

なお例会終了後プログラム委員会の皆さんとの打ち合わせを宜しく申し上げます。これで会長挨拶とさせていただきます。



<幹事報告：平田洋一幹事>

8月 ロータリーレート 1ドル=100円

松戸東ロータリークラブ

8月 9日（金）ナイトクルージング家族例会へ変更 東京ヴァンティアンクルーズ

8月16日（金）休会

8月30日（金）チャリティ夜間例会 伊勢丹松戸店11F バンケットルーム



「ロータリー希望の風奨学金」の現況報告2回目が「ロータリーの友」に掲載されていますので、ご一読ください。

WEEKLY REPORT

<卓話:TPPの諸問題について:吉田俊一会員>



会長よりTPPに付いての卓話依頼がありましたのでJAに行き少々調べたつもりです。TPPで影響を受けられるのが、農業、医療、保険だと云われております。医療、保険に付いては全く解りません。農業に付いて話してみます。

農業の現状と云いますと、日本の人口の3%に満たない約260万人の農民が日本の食料の大半を支えている。農業従事者の平均年齢は65才、35才未満は5%と数字が示すように後継者不足もあって、埼玉県と同じ面積の耕作放棄地が広がって居る、さら1戸あたりの農地面積はEUの1/9、アメリカの1/99、オーストラリアの1/1800と耕作面積の狭さが生産性を引き下げて居る。

何故日本の農業が弱体化したかと云えば、食料管理法と農地法だと思います。食管法は戦争中絶対量の少ない食糧を国民に配る為、消費者保護の為の法律でした。ところが戦後何時の間にか（食糧が満たされても）生産者保護になってしまいました。

農地法は戦後GHQ主導の財閥解体の一環として大地主の解体が行われました。名目は自作農創設でした、これが農地の細分化を進め農業が小規模化されてしまった。

これらの法律が（東條英機、マッカーサーが作った）つい最近まで生きて居た為時代に取り残され全く国際競争力を失ってしまった。

それともう一つの原因として、バブル崩壊まで土地神話があり、「財産として土地に勝るもの無し」と言う現実の経済とは乖離した考えも一因かと思えます。

最近憲法改正が云われて居ますが、日本は改革は全く苦手な民族のようです（農耕民族）過去90年代に6兆円もの税金が農業に投入されましたが、体質強化規模拡大にはならず、地元の土建業者が潤うだけの基盤整理とか集出荷場、選果場の建設に終わりました。

今、JA中央会が中心になりTPP反対運動が行われて居ます。これとて農業の活性化、生産者の活力にはならないと思えます。JAのトップは自分等の組織強化が目的だと思えます。

JAばかり悪く云う様ですが、今の政治が全く同じで国家百年の計ではなく、党利党略の様に思えます。

結論はTPPに参加して、しっかり交渉（国益に合う）する事だろうと思えます。食糧は安全保障にも深い関係があります。政府としても今までみたいに（農家の個別保障等の）バラマキではなく、規模拡大に支援し国際競争力を付ける方向をとるべきだと思えます。

株式会社の参入も仕方ないのではないかと思います。私共の感覚では規模拡大しか方法はなかろうかと思えます。若い皆さんはどう思いますか？食糧は自給を考えるより買った方が良いは、絶対ダメです（先進国で食料自給率が日本程低い国はない）

農業に付いて考えてみましたが、医療、保険に付いて会員に専門家も居ますし、是非卓話をして頂きたいと思えます



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。